

アラカルトピックス

平成26年度 睦学園物故者追悼会を開催

9月20日(土)、兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校アリーナにて学園関係者のご遺族をお迎えし、睦学園物故者追悼会が各部門の代表の方々と生徒参列のもと行われました。今年、2年ぶりに浄土真宗本願寺派布教史、安養寺(尼崎市)ご住職の足利孝之先生よりご法話(「四恩」)をいただきました。四恩とは、「仏様の恩」「国家の恩」「父母の恩」「衆生の恩」のことです。最後の「衆生の恩」について「一杯のかけそば」のお話をしてください、私たちは一人で生きているわけではない、周りのさまざまなものに支えられて生きているということを考えさせられました。今をよりよく生きる契機とさせていただきます。



※追悼会(ついでうい)とは、睦学園に関係され、学園や社会のために尽くして下さった方々の色々なご恩を思い起こし、とかく忘れがちな自分自身の心を静かに反省していく集いです。

龍谷総合学園学校保護者会連合会総会に参加しました

10月30日~31日、龍谷総合学園学校保護者会連合会総会に参加しました。上記連合会は、『龍谷総合学園』加盟校の保護者会で組織されており、総会は年間最大の行事であり、今年度は総勢約200名が全国から集まりました。総会審議では、事業報告等が行われ、その後は富山第一高等学校サッカー部監督の大塚一郎氏を講師に迎え、「日本一への軌跡」というテーマでの講演会や関係施設等の視察、協議会や懇親会等がありました。参加した役員からは、「全国から来られた皆様とお話する機会に恵まれたことに、大変光栄に思い大変感謝しています。」と感想をいただきました。



兵鸞会サロンを開催

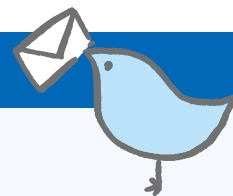
11月9日、第50回兵庫大学大学祭『聚萌祭』にて、兵鸞会サロンを開催しました。このイベントは、卒業生が母校を懐かしみ、足を運ぶ機会として、卒業生と教職員、卒業生同士が交流する場を提供することを目的として、兵鸞会が昨年度より実施しています。当日は、あいにくの雨となりましたが、約50人の来場がありました。また、滴翠会(兵庫大学短期大学部同窓会)総会も同日に開催されました。



睦コンソーシアムの連携事業の様子を特別号に掲載

法人本部からのお知らせ

「睦コンソーシアム」で3事業がスタートしました。
また、「こんな連携事業をしてみたい」を現在本学園の教職員に募集中です。奮ってご応募ください。



「じゅづつなぎ」の原稿を募集します。

学園の教職員・学生・生徒・園児・卒業生からのひとことメッセージを掲載します。自薦・他薦を問わず原稿をお寄せください。

あおぞら 第52号

感謝 生かされる心 寛容 信じあう心 互譲 たすけあう心

国際交流ing

兵庫大学

国際交流事業の一環として、8月~9月に本学の協定締結校である韓国釜慶大学校、アメリカ梅野木庭園老人ホーム等へ学生派遣を行いました。また、8月には、タイマハサラカム大学の教員・学生が本学に来訪され、交流を深めました。

8月4日(月)~14日(木)、韓国の釜慶大学校でのサマースクールに経済情報学科の学生2名が参加しました。韓国の文化体験、韓国語研修、グループ活動や釜山探訪、釜慶大学校の在學生との交流を行いました。

参加した経済情報学科2年八幡さつきさんは、「韓国の文化体験では釜慶大学校の学生や日本の他大学の学生とグループ活動を行い、様々な考え方を聞いて意見交換をすることで、自分自身が成長できたように感じました。サマースクールでの経験を学生生活に生かし、いろいろなことにチャレンジしたいです。」と話していました。

タイ国マハサラカム大学看護学部教員及び学生14名が、8月5日(火)~11日(月)にかけて本学を訪れました。本学では、両大学によるリサーチフォーラムや、マハサラカム大学看護学部ダルニー学部長によるショートレクチャー、ハーブ足浴の体験などが行われました。また、兵庫県災害医療センターや岡山済生会総合病院、人と防災未来センターなどの施設見学をしました。

受入に協力した看護学科2年松井紗弓さんは、「ハーブ足浴では、タイでお風呂につかる習慣がないとのことで、文化の違いを知ることができました。タイの教員や学生とのコミュニケーションは英語なので、会話できるのか自信がありませんでしたが、片言でもボディランゲージを加えることでコミュニケーションをとることができ、座学だけでは学べないことがたくさんありました。」と話していました。

なお、平成27年3月には、本学の学生及び教職員がタイのマハサラカム大学を訪れ、タイ国の医療機関などを見学する予定です。

8月19日(火)~9月2日(火)にかけて、社会福祉学科の学生3名が、アメリカのカリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校、および梅野木庭園老人ホームを訪れ、語学研修や施設見学、ホームステイを行いました。その他、スタンフォード大学、アルカトラズ島(監獄の島)を見学しました。

参加した社会福祉学科1年石野理央さんは、「リハビリセンターや地域の病院、支援センターを訪問し、地域の病院であっても子どものICUが充実し、日本にない医療機器を見ることができました。また、梅野木庭園老人ホームでは英語でプレゼンテーションをし、非常に緊張をしましたが、語学研修の成果を発揮できました。」と話していました。



兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

今年もフランス国立ニース・エスチエンヌ・ドルヴ高等学校から14名の生徒が本校を訪れ、歓迎会では、日本語で自己紹介をしました。10月25日~11月7日の間、生徒宅でホームステイをし、それぞれの滞在先で着物を着たり、寺社仏閣などへ観光をするなど様々な日本の伝統文化を体験しました。ホストシスターを担った生徒の中には、「私の人生の中でとても貴重な時間を過ごせました。過ごした時間の中で色々な考え方、知識を得ることができました。将来はこの経験を活かしてグローバルな視野で活躍できる女性になりたいです。」という感想がありました。

